

令和3年度卒業式・滄水会賞授与式

令和4年3月18日(金)職業能力開発総合大学校にて令和3年度職業能力開発総合大学校卒業式及び第27回滄水会賞授与式が執り行われました。緊急事態宣言下のため、式は規模と時間を短縮し、必要最小限の人員で実施されました。滄水会賞授与式では、小路会長より将来、社会において大いに貢献が期待される卒業生4名に「滄水会賞」が授与されました。受賞者のみならず、すべての卒業・修了生のご活躍と社会への貢献を、滄水会会員一同心より祈念しております。

【受賞者から喜びの声】 (総合課程 電子情報専攻 堀川友稔 (ほりかわ ともなり))

この度は、滄水会賞という大変名誉ある賞を受賞させていただき、誠にありがとうございます。私が滄水会賞を受賞できたのは、共に助け合いながら成長してきた電子情報専攻の仲間たちと、いつも熱心に指導して下さった先生方の助力があったからこそだと感じております。職業大では、専門的な理論や知識を学ぶ講義だけでなく、実験や実習の中でそれらを自分の目で確かめることができました。職業大ならではの学習から学んだ知識は、これから社会人として踏み出す私達にとっての土台となると感じております。

私は就職率が非常に高い国公立大学であることに魅力を感じ、職業大の入学を決めました。そして今年の4月から、晴れて新社会人として働くことができます。

在学中は、国際会議での発表や高校生向けに専門授業を行う先生凶鑑イベントなど、様々な経験をすることができました。職業大で学んだ経験を活かしつつ新しいことをどんどん吸収し、基盤力のある社会人になりたいと思います。これからも日々勉学に励み、研鑽を重ねて参ります。今後も暖かい目で見守って頂けたら幸いです。

この度は、大変名誉ある賞を受賞させていただき、誠にありがとうございました。重ねてお礼申し上げます。



上段左から 藤野栄一副会長 小路幸市郎会長、秦昌樹副会長、遠藤雅樹事務局長

下段左から 機械専攻 平野亜里沙さん、電気専攻 塩屋健さん、電子情報専攻 堀川友稔さん、建築専攻 西原大地さん

2021 滄水会名簿(CD版)発刊のお知らせ

令和3年11月に、「2021 滄水会名簿(CD版)」がお陰様をもちまして、無事に完成の運びとなりました。名簿は7年ぶりの発刊となります。発刊には多くの同窓生の皆様や先生方にご協力をいただきました。改めて御礼申し上げます。なお、名簿は若干の在庫がございます。購入を希望する方は、本人確認を実施するため、機構職員経由で事務局にお申込みください。

会員紹介ブログ(会員リレー紹介)の大紹介



令和3年度よりスタートしました会員紹介ブログ(以下、ブログと記載します)数は現在、105件(令和4年5月末)になりました。そこでこの度、投稿されたブログの内、会員同士の交流報告があるものを2点ご紹介させていただきます。本ブログを機に、滄水会会員同士の親睦が深まることを期待しております。

会員の皆様におかれましては、是非とも記事の閲覧並びに紹介記事のご寄稿をお願いします。

滄水会会員紹介ブログ：<https://ptusousuikai.blog.fc2.com/>

閲覧パスワード：郵送されました「令和4年度滄水会ニュース発行のご案内」はがきをご覧ください。

お名前	紀 高志	お名前	財津 拓三
所属科、期	運輸装置科 20期	所属科、期	建築工学科 38期
タイトル：今は無き運輸装置科の20期です。		タイトル：先輩に連れられて	
<p>現在は、還暦を迎えた身体に鞭打って日々職業能力開発促進のため、微力ながら業務に邁進しています。</p> <p>在学中は、決して真面目な学生では無かったですが、学生寮での生活や自動車部の活動、学園祭の実行委員などの経験が勉学と併せて、今までの社会人生活で大変役に立っていること、かつ、様々な困難な出来事を乗り越えてこられたことを日々の刹那の中で感じる事が多々あります。</p> <p>添付の写真は、職業大(訓大)が相模原から小平への移転前の年の夏に相模原キャンパスの自動車部の車庫前にて「自動車部車庫を偲ぶ会」を開催した時にご参加頂きました皆様です。</p> <p>15期の先輩から40期ぐらいまでのここで青春を過ごした皆様が、この場所に来られるのも最後と言うことで集まり、昔の思い出などを語り合いました。ちなみに、私は一番左に写っていますが、現在は、この時より15kgほど減量しています(まあ、これは、どうでもいいですが)。</p>		<p>昨年の異動により職業大に交流人事で配属されています建築工学科 38期の財津です。</p> <p>早いもので1年が経過し、片道2時間半の通勤も日常となり、なんとか2年目を迎えております。電車に乗っている時間は1時間半程度ですが、宇都宮線 小山駅までの約1km、武蔵野線 新小平から職業大までの約2kmを歩いているせいか体重が5kg程度減りました。そして、日々歩くこの習慣を休日にも生かそうと、最近は登山に目覚め、この春には先輩である藤野先生(29期)に連れられて、蓼科山(長野)と雲取山(東京)の2座に登ってまいりました。</p> <p>1枚目の写真は、卒業式の翌々日に登った蓼科山です。3月とはいえ気温はマイナス7℃でしたが、ありがたいことに風がほとんど吹いておらず気持ちよく雪山を楽しむことができました。下山後は、ついでに隣にある霧ヶ峰とも思いましたが却下。山は夜まで楽しむものかと思っておりましたが、登山は明るいうちに帰るものようです。</p> <p>2枚目の写真は、4月の初旬に登った雲取山です。蓼科の際は、先輩を高尾の駅で40分待たせるという失態を犯しましたが、今回は時間通りに青梅の駅に着くことができ、また、東京都で一番高いところへ連れて行ってくれました。先輩、次は、南アルプスの3,000m峰に連れて行ってね!</p>	
			

職業大の今：定成前副会長 滄水会活動の思い出

本年度も職訓大・職業大の発展に多大なるご尽力をくださった先生方が退職されました。前滄水会副会長を務められた定成政憲名誉教授に滄水会の思い出を語っていただきました。

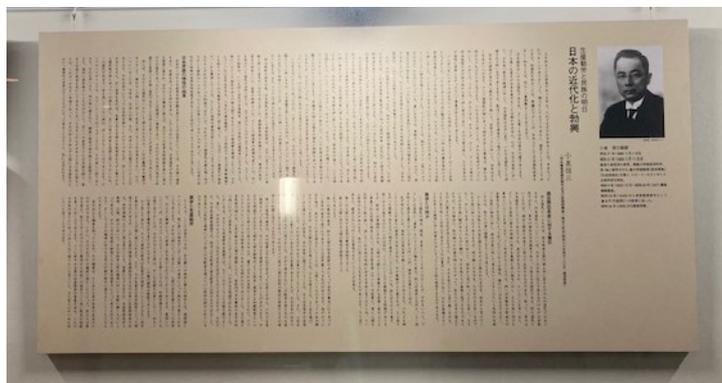
滄水会副会長として、2017年10月～2020年9月まで、小路幸市郎会長、秦昌樹副会長、垣本忠副会長、塚崎英世事務局長と3年間活動をしてきました。3年間を振り返ってみると、まず、任期最終年の2020年4月7日に新型コロナウイルスの緊急事態宣言が出されたことです。同年4月から2カ月間、職業大の総合課程が休校状態となり、主任と学務委員を中心としてリモートを活用した授業対策等がまとめられました。また、指導員研修は都道府県から受講申込のキャンセルがあり、機構指導員を中心として規模を縮小して実施しました。

一方、第58回技能五輪全国大会（2020年11月13日～）は無観客で、愛知県国際展示場等で実施し、第59回大会（2021年12月7日～）は会場の入場者を選手と関係者だけに限定して東京ビッグサイト等で実施しました。20歳の年齢制限がある第15回若年者ものづくり競技大会（2020年7月29日～広島県予定）は中止、第16回大会（2021年8月4日～）は事前登録制で、愛媛県武道場等で実施されました。このような新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、規模を縮小した令和元年度職業能力開発総合大学校卒業・修了証書授与式（2020年3月19日）後に、第25回滄水会賞授与式を小路幸市郎会長の代理として事務局を主体として実施しました。

滄水会が果たす役割は、在校生が快適に勉学できる手助けをすること、卒業生の活躍状況報告、ネットワーク構築の手助けをすることなど、確実にできることから進めていってほしいと思います。ところで、小平に移転した職業大には二つの大切なものがあります。一つは、昭和36年（1961）4月20日の”生産勤労と民族の明日 日本の近代化と勃興”と題して、小泉信三氏が講演した「中央職業訓練所開所式及び長期訓練第一期生入所式講演原稿」が2号館1階の展示室に保管されていることです。二つ目は、樹齢をレジストグラフで確認できた樹齢85年の赤松です。この樹木は台風で枝をたくさん落としましたが、青空に向かって成長しています。温故知新で新しい歴史をつくる参考になって欲しいと思います。



定成政憲 名誉教授
木材加工科 20期



中央職業訓練所開所式及び長期訓練第一期生入所式
講演原稿（2号館1Fエントランス）



樹齢をレジストグラフで確認できた
樹齢85年の赤松（小平キャンパス）

事務局だより

●住所変更等のお願い

会員の皆様の住所変更等がございましたら、滄水会HPにてお手続きの実施をお願いいたします。ご不明な点がございましたら、事務局（FAX 042-346-7879 または、E-mail : sousuikai@uitech.ac.jp）までお問い合わせ下さい。

●終身会費と維持寄付のお願い

滄水会では、60歳の時期（終身会費：1万円）に滄水会維持費として終身会費をお願いしております。また全会員の皆様にも維持寄付（一口5000円）をお願いしております。是非、滄水会の発展のため令和元年度の滄水会ニュースに同封いたしました振込用紙にてご寄付をお願い申し上げます。

●寄稿のお願い

会員の皆様には、同期会や支部会などがございましたら、開催情報の告知や活動をご寄稿願います。また、滄水会ニュース全般に関するご意見、ご感想、ご提案などを事務局（E-mail : sousuikai@uitech.ac.jp）までお寄せくださいますようお願い申し上げます。